

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009仙第30号	
事故等名	貨物船繁竜丸衝突(岸壁)	
発生年月日時刻	平成21年2月18日17時50分ごろ	
発生場所	新潟県糸魚川市姫川港中央ふ頭2号岸壁 (概位 北緯37° 02.8'、東経137° 50.4')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年3月10日仙台・地方事故調査官が海難報告書を入手し、同月13日船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 貨物船 繁竜丸 498トン 船舶番号 134789 船舶所有者等 宮崎産業海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	右舷船尾角部凹損(高さ約30cm、幅約30cm、深さ約2cm)及び塗装剥離	
事故等の経過	本船は、喫水が船首3.0m、船尾4.8mの満載状態で、新潟県糸魚川市姫川港中央ふ頭2号岸壁に右舷付けで接岸しようと、岸壁から約30mの位置で、船首を南南東方に向けて前進投錨により、左舷錨を3節入れ、左舵一杯をとり船尾を岸壁に寄せていたとき、錨が効いたことと西寄りの強風により船首が左舷側に圧流され、船尾が右方に振れて岸壁に接近した。すぐに右舵一杯をとり岸壁との接触を回避しようとしたものの、平成21年2月18日17時50分ごろ、右舷船尾が岸壁に衝突した。 当時、天候は雨で風力7の西風が吹き、潮候は上げ潮の中央期であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、左舷錨を前進投錨して左舵一杯をとり、船尾を岸壁に寄せていたとき、錨が効いたことと西寄りの強風により船首が左舷側に圧流され、船尾が右方に振れて岸壁に接近したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、左舷錨を前進投錨し、左舵一杯をとって船尾を岸壁に寄せていたとき、錨が効いたことと西寄りの強風により船首が左舷側に圧流されたため、船尾が右方に振れて岸壁に接近し、船尾と岸壁が衝突したことにより発生したものと考えられる。	
その他の事項	なし	